

今日のみことば

□ 1月8日(日) ヨハネ 7章

イエスは仮庵の祭りに上京して、エルサレム神殿でユダヤ人々と論争をされた。自分がだれであり、どなたに遣わされたかを語られました。

□ 1月9日(月) ヨハネ 8章

イエスのご自身について「わたしは世の光です」と言明されます。イエスは人々の心の目を開いて、ご自身を通して神の救いが成就されることを語られる。

□ 1月10日(火) ヨハネ 9章

生まれつき盲人の目を開けられた。私たちはすぐその原因など知ろうとするが、イエスはその苦難の上に加えられようとする、神の恵みを見るようにと促される。

□ 1月11日(水) ヨハネ 10章

詩篇23篇は羊飼いの歌として知られている。良い羊飼いは羊のために自分のいのちさえも捨てる。彼がほんとうに羊を愛しているからです。

□ 1月12日(木) ヨハネ 11章

ラザロの病気を知られてもイエスは慌てて行かれようとはされなかった。主にはどのような時も「神の栄光」のためであった。ラザロの死と復活を通して神の栄光が表された。

□ 1月13日(金) ヨハネ 12章

イエスは地上の生涯にあっては選民のために活動されたが、最後の週のギリシャ人の来訪を得て、多くの実を結ぶために落ちた一粒の麦のように死なねばならないことを語られる。

□ 1月14日(土) ヨハネ 13章

イエスは弟子たちに対して自分を明白にされ、最後の教えをなされた。語られるだけでなく自ら模範を示されました。その限りない謙遜と仕える姿にしっかり私たちは自分を省みます

ろ ぼ No. 1797
2017年 1月 8日
日本バプテスト 立川キリスト教会
牧師 大川 博之

エペソ6:11

悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武器を身に着けなさい。

この世には、あまりにも多くの神に敵対する勢力が充満しています。ペテロは「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなた方の敵である悪魔は、ほえたけるししのよう、食いつくすべきものを求めて歩き回っている」(1ペテロ5:8)と言いました。またパウロは「わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである」(エペソ6:12)とも言います。

私たちはどのように、この神と敵対する勢力と向き合い戦うことができるのでしょうか。しかもこの敵対する勢力・サタンも、神が創造された主の働き人でした。しかし彼は、高ぶったために、はじめの地位から落とされました。彼の

言葉に「わたしは天に上り・・・いと高き者のようになろう」(イザヤ14:13)とあります。そのような者とは、まともに向き合って戦えるものではありません。イエスは「だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る」(マタイ13:19)と言われ「悪魔は最初から人殺しであって、真理をよりどころとしていない」(ヨハネ8:44)と言われているのです。パウロは「この世の神が、信じようとはしないこの人々の心の目をくらまし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです」(2コリント:4)と言いました。実に私は今日の時代に、この真理をよりどころと

しない為政者の出現に驚くと同時に、神の力ある働きを切望せずにはおれないでいます。

エペソは女神アルテミスを祭る神殿を中心に栄えてきた町でパウロはそこで教会を建設し、主キリスト・イエスを示して確かな福音を伝えました。この宣教は当時の世界に騒動を巻き起こし、パウロはいのちの危険にさらされたことでした。そのような時代に生きる彼らに「主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい」と勧めます。

新しい年を迎えて、さらなる試練が待ち受けているこの時代を、私たちはいかに生き抜いてゆくののでしょうか。私たちには主なる神がともにいて下さることを忘れてはならないのです。パウロは「悪魔の策略に対抗して立つことが出来るように、神の武具を身につけなさい」と言います。その武具たるや実に見事なものばかりです。戦国の武将が身につけていたものに勝るとも劣るものではありません。血肉の戦いではなく、悪の諸霊を相手にするものです。武器はただ一つ「霊の剣」です。

「御霊の与える剣である神のことばを受け取りなさい」と言われます。この剣の鋭さとその剣法についての模範は、荒野で悪魔の試みに会われた主イエスの対決に見ることが出来ます。この剣呑とした時代に生きる私たちが、勝利を勝ち取るためにしっかり「”霊”に助けられて祈り、願い求めて」み言葉の研鑽に励むことです。私たちはまことの道を歩み、主の栄光を見させていただくのです。

————— 《 聖書の学び・祈祷会 》 —————

マタイ7:7-11 求めているか。

私たちの祈りは、欲望の実現でないことは百も承知しています。そこにはイエスが、こう祈りなさいと言って示して下さった主の祈りがあります。何を求めて祈るのでしょうか。

まず「罪の赦し」を求めなさい(1ヨハ1:8-10)とヨハネは言います。そしてサタンの誘惑に勝つ力を(1コリ10:13)主に誠の道を示していただくこと(コサ1:9-10)、内なる人を強めて下さること(エフ3:16)、互いに愛に満ちあふれさせて下さい(1テサ3:11-12)、日ごとのパンが与えられ(マテ6:11)、癒やしが与えられ(ヤコブ5:16)、聖霊の導きによって生活が出来るように(使徒8:14-15)そして何事においても御心にかなうことを願ひ(1ヨハ5:14-15)、求めているものすべてを申し上げることです(ピリ4:6,19)。「そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」



Read God's Word.